

美 術

美術科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
<p style="text-align: center;">ア 知識及び技能</p> <p>対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</p>	<p style="text-align: center;">イ 思考力、判断力、表現力等</p> <ul style="list-style-type: none"> • 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考える。 • 作品の主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> • 全体的に授業に臨む姿勢が意欲的で、用具の使い方や、管理については適切にできている生徒が多い。一方で技能については個人差が大きい。ア • 鑑賞の際には、楽しみながら取り組む生徒が多いが、美術や美術文化に対して自分の見方や考え方をもちつていない。イ 	<ul style="list-style-type: none"> • 机間指導をし、個別に指導を行ったり、他の生徒の作品を見合ったりする時間をつくる。タブレット端末で動画等を視聴し、視覚的な指導を取り入れる。ア • 鑑賞活動を通してさまざまな見方や考え方に触れられる機会を設ける。イ 	通年	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> • 表現したことを適切な表現方法を選択して表すことに課題がある生徒が多い。ア • 構想を練ったり、発想をしったりすることに課題がある生徒が多い。イ 	<ul style="list-style-type: none"> • アイデアを練る段階でワークシート等を活用したり、タブレット端末等で資料の収集をしたりする。ア • マッピングやスケッチなど、ワークシートの構成を工夫し、自分なりのアイデアを練ることができるようにする。イ 	通年	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> • 用具の使い方や、材料などの管理が適切にできている。一方で技能については個人差が大きい。ア • 構想を練る際に、自分なりの工夫や主題を盛り込むことが苦手な生徒が多い。イ 	<ul style="list-style-type: none"> • 机間指導をし、個別に指導を行ったり、他の生徒の作品を見合ったりする時間を設ける。タブレット端末で動画等を視聴し、視覚的な指導を取り入れる。ア • マッピングやスケッチなど、ワークシートの構成を工夫し、自分なりのアイデアを練ることができるようにする。イ 	通年	

<p>■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <p>【全学年共通】アイデアを練る段階でワークシート等を活用したり、タブレット端末等で資料の収集をしたり、動画等を視聴し、視覚的な指導を取り入れる。</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>【全学年共通】進捗状況表やワークシート、タブレット端末での写真記録を利用し、振り返りをして見通しをもって学習に取り組めるようにする。</p>
--	---

